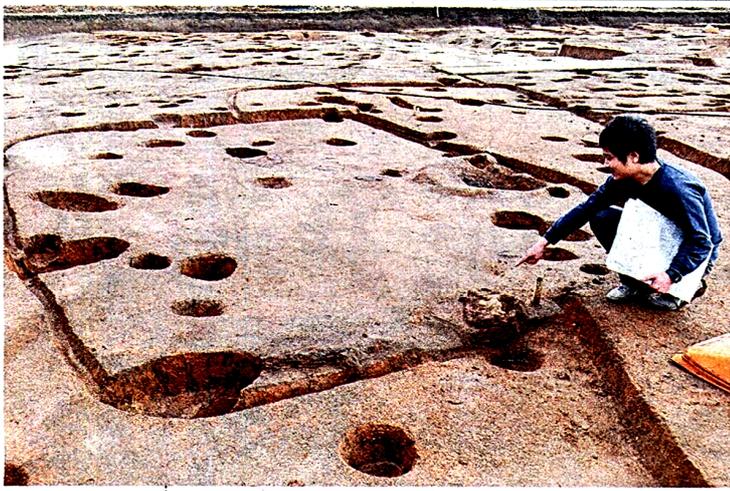


# 竪穴住居跡が70カ所

## 東浦・天白遺跡「予想以上の規模」

東浦町が二〇一七年 町緒川の「天白遺跡」  
六月から進めている同「の発掘調査で、弥生時



代中期から古墳時代に  
かけての竪穴住居跡が  
約七十カ所見つかった。

担当者「予想し  
ていた以上の規模。天  
白遺跡が当時の大集落  
だったことが分かる」  
と話している。

天白遺跡はJR尾張  
森岡駅から南西約六百  
メートルの住宅地の一角にあ  
り、縄文時代から鎌倉  
時代にかけて集落があ  
ったと考えられている。  
一帯は土地区画整  
理事業により宅地造成

天白遺跡で見つかった弥生  
時代の住居跡。火事にあっ  
た可能性があり、焼土を含  
んでいる。東浦町緒川で

されるため、町は本年  
度、初めてまとまった  
発掘調査を実施した。

大きさは縦横六メートル前後  
が多かった。焼土が多  
く混ざっていることか  
ら、何らかの火事にあ  
ったと考えられる遺構

も複数あった。  
遺跡からはこのほ  
か、弥生時代から平安  
時代にかけての土器

や、「山茶碗」と呼ば  
れる中世に作られた陶  
器などが出土。出土し

た。  
町は十三日午後一時  
半から、現地見学会を  
開く。事前申し込み不

要で参加無料。雨天中  
止。遺跡周辺には駐車  
場はない。◎町郷土資  
料館 0562(82)  
1188(宮崎正嗣)